

マラウイ通信

渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

【世界最貧国】国際通貨基金(IMF)が今年6月に公表したデータによると、戦争と飢餓によって荒廃したアフリカと中東の国々は、世界で最も貧しい国であり続けているとされています。さてマラウイに目を向けてみると、なんとワースト3位です。自分が住んでいる地域が世界最貧国の一つだという事に改めて衝撃を受けました。最下位はスーダン。続いてブルンジです。ここで感じた事は、この三か国を比較してみるとマラウイ以外の二か国は内戦という大きな問題を抱えている国だということです。当然そのような状況では国自体が正常に機能しませんので、経済的に波乱を起こすのも無理はなく、世界最貧国である原因も目に見えています。しかし、マラウイに至っては目立った内戦もなく、平和な国に感じます。そういった状況を踏まえると本当に経済的に貧しい国なんだと感じます。資源が無いのももちろんの事、実際に競争意識も低いので、対諸外国となるとうしても不利になってしまっている様な数字が弾き出されているのだと思います。貧しい事が原因で十分な教育や医療が受けられない事は非常に残念な事です。ここマラウイを見てみると、いつも陽気で凄く幸せに生活していると感じる場面も沢山あります。一方、農村部などの私が普段足を踏み入れない地域では、今でも飢餓が続いていると耳にします。最貧国であり続けているマラウイ。いつか最低限の豊かさを。

【空手2】先日、休日を利用し同期隊員の学校で空手教室を開催しました。時間の都合等もあり、プライマリーの5年生と6年生の授業2コマだけしか得られませんでした。元気な子供達と楽しい時間を過ごす事ができました。マラウイの生徒はと言うと、、、正直、とてもうるさくて元気が凄いです。学校に一步足を入れると大勢の生徒が集まってきて收拾が付きません。実際に、この日が来るまで恐れていたことは、空手の授業をするとしても生徒がふざけて聞く耳を持たず、授業にならないという事です。そこで事前に同期隊員と作戦を練りました。※同期隊員から生徒へ「君たちに友達である空手の先生が空手を教えてやる。でも、その先生はとても怖いから少しでも無礼な態度をとると怒られるぞ!!」そして迎えた当日。教室に入って来る生徒の目は真剣そのもので、私と目を合わせると「Hello sir」と手を胸に当てお辞儀してくれました。マラウイでは最高の敬意を込めた挨拶だと思います。こんな生徒達を見た事ありません。いつもは陽気でお道化ている生徒の普段は見せない姿勢に私も気合が入りました。中には英語が不得意な生徒もありましたが、何とか私の言う事を汲み取ろうと必死さが感じられます。授業では武道の心得や礼儀作法、空手の基礎を行いました。私は、子供達の返事を「はい」と日本語でさせたかったので、その旨を英語で説明します。すると子供達も「はい」と答えます。そして最後に私が「Do you understand?」と大きな声で聞くと、「YES!!」と返答されたので笑ってしまいました。やはりなかなか難しいようですね。マラウイの生徒達は日本の子供達のように数あるスポーツを知らなければ、選択する事もできません。この初めての経験である空手を心から楽しんで習得しようとしている姿は自分の中でも大切な経験となりました。ちなみに子供達の集中力の継続時間はとてつもなく短いです(笑)



【後記】日本もいよいよ夏本番海やBBQ、祭りに花火、楽しみがいっぱいですね。想像したみだけで楽しくなると同時に日本が恋しくなると同時に熊本の暑い夏を三回も通ることは耐えられないのか、なんて凄く先の事を妄想します。とは言ってもマラウイに来て9カ月が経過しましたが、辛い時期もありましたが過ぎてみれば早かったと感ずります。残された時間も大切に過ごしたいと思います。

